
「リンパ浮腫治療予後改善のための外科的治療の最適化に関する研究」に関するお知らせ

このたび、当院でリンパ浮腫に対してリンパ管細静脈吻合術や血管付きリンパ節移植術、組織減量術を施行した方の情報(診療録や検査データ)を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、「総合医療センター研究倫理委員会」の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2012年 4月1日～ 2023年 12月31日の期間に 当院でリンパ浮腫に対してリンパ管細静脈吻合術や血管付きリンパ節移植術、組織減量術を施行した方

2. 研究の目的

リンパ浮腫の外科的治療は近年マイクロサージャリーを用いたリンパ管静脈吻合術や血管付きリンパ節移植術の他に脂肪吸引術・肥大組織減量術など多岐にわたり開発されており、各々の治療法の有効性については徐々にエビデンスを蓄積しています。しかしながら現時点では、どの治療モダリティをどのような症例にどのようなタイミングで適応するのが最大の治療効果をもたらすのか、すなわち治療の最適解が術者によって違い、統一されていないのが現状です。本研究では四肢リンパ浮腫患者に対し、リンパ管静脈吻合術や血管付きリンパ節移植術、組織減量術など当科で過去に行った外科的治療を後ろ向き(カルテの情報や検査結果など)に調査し、治療時期や術式の違いがもたらすリンパ系のドレナージ機能の変化や治療効果、合併症の発生率などの違いについて評価して、最適な治療体系を確立することを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025年 3月 31日

4. 利用または提供の開始予定日

2024年 3月 7日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

当院でリンパ管静脈吻合術、血管付きリンパ節移植術、組織減量術を行った四肢リンパ浮腫患者の診療録から、患者年齢、性別、BMI、原疾患やその治療法などの患者背景情報のほか、リンパシンチグラフィ

やインドシアニンググリーン蛍光リンパ管造影などの画像所見、リンパ浮腫治療法、術前後の浮腫量(周径計測データ)およびその変化などの情報を収集します。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センター 形成外科・美容外科において、研究責任者である大西文夫が管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

リンパ浮腫と診断された患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者(研究実施機関)

埼玉医科大学総合医療センター形成外科・美容外科

研究責任者:形成外科・美容外科 医師 教授 大西 文夫

研究実施者:形成外科・美容外科 医師 助教 鈴木 愛弓

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学 総合医療センター形成外科・美容外科

埼玉県川越市鴨田 1981 TEL 049-228-3639

鈴木愛弓 prs.ayumi0101@gmail.com

○研究課題名:リンパ浮腫治療予後改善のための外科的治療の最適化に関する研究

○研究責任者:埼玉医科大学 総合医療センター 形成外科・美容外科 医師 教授 大西文夫